

DE&Iを、さらに 推し進める決意

Well-beingも支えるDE&I

DE&Iは、イノベーションを生み出すための基盤とされています。

一方、違いは違いのまま、ありのまま受け容れてもらえると、誰もが自分の気持ちや価値観に素直に生きている実感を持つことができ、Well-beingな状態に近づきます。組織が同じような人ではなく、さまざまな人で成り立っている状況、例えば、考え方やバックグラウンドがさまざまであったり、多くの人が時間や場所に制約のある事情を抱えたりしている状況では、みなそれぞれ違うことが当たり前、お互い事情があって当たり前だと思えるのではないのでしょうか。そこでは、誰もが負い目を感じることはなく、自分らしく過ごせます。

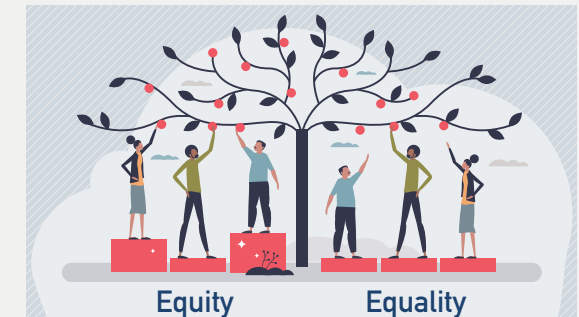
DE&Iは、イノベーションを支えるだけではなく、Well-beingを支える土台だと、私は考えています。

Equity視点の課題に切り込む

MS&ADグループにいる、さまざまな経験やバックグラウンド、価値観や考え方を持つ社員が、一人ひとりの強みや個性が真に発揮できるようにするために、Equityの視点を重視して取り組みを進めています。具体的には、現在の制度や運営において生じているさまざまな偏りは、どのような障壁やアンコンシャス・バイアスが生み出しているのかを考え抜き、それらを克服する意識改革や制度改定などの具体的な対策を一つひとつ実行しています。

課題は次の2点にまとめられると考えています。働く場所・時間に制約のある社員が公平に力を発揮できる環境を整えること、そして、性別を問わず、誰もが当事者として家事・育児・介護に参画する環境を整えること、です。

D&IからDE&Iへ 重要なのはEquity



これらの課題を解決するため、転勤の範囲による社員区分の廃止等の人事運営により評価者や社員自身の役割意識を払拭すること、労働時間による人事評価の差異を解消すること、ライフイベントにおける支援を強化すること、などに取り組んでいます。

Equityによる社会変革を目指す

課題の解決に向けて、当社グループだけで取り組むのではなく、社会のステークホルダーと行動を共にすることで、社会全体に共通認識が育まれ、当社グループの取組もスムーズに進むはずです。

その先に、一人ひとりの強みや個性が最大限発揮され、誰もがWell-beingを実感できる社会があると、私は確信しています。



MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
常務執行役員 グループCSuO DE&I担当
本島 なおみ

